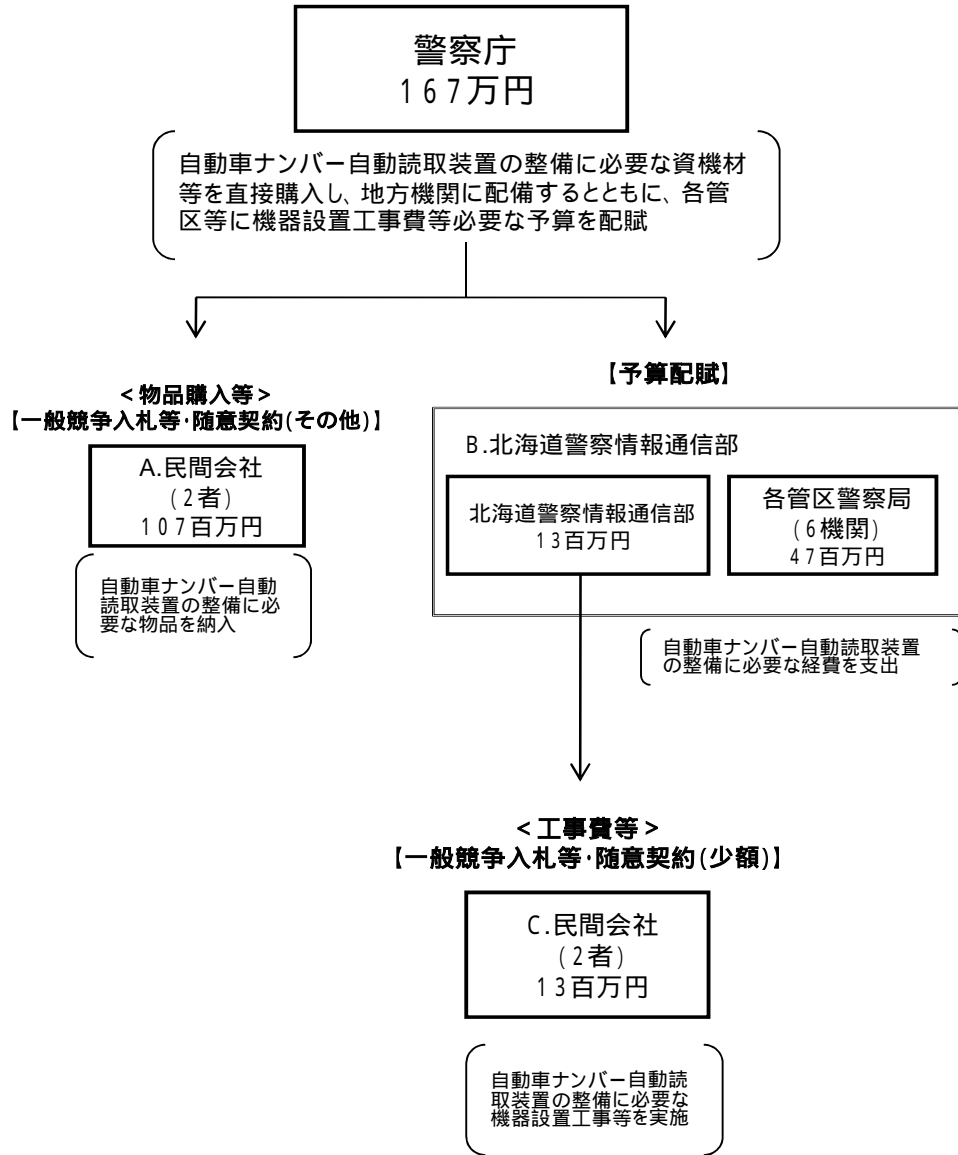


平成25年行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	自動車ナンバー自動読取装置の整備		担当部局庁	情報通信局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和61年度～		担当課室	通信施設課		通信施設課長 塚原 秀利	
会計区分	一般会計		政策・施策名	犯罪捜査の的確な推進 4 科学技術を活用した捜査の更なる推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第3号 警察法施行令第2条第3号		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	自動車盗や自動車を利用した犯罪を検挙する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	自動車盗や自動車を利用した犯罪を検挙するため、通過する自動車のナンバーを自動的に読み取り、手配車両のナンバーと照合する自動車ナンバー自動読取装置を整備する。						
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付 その他	
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	0	85	205	18	2,380
		繰越し等	0	0	1,512	0	
		計	2,028	0	1,330	1,330	
	執行額	2,028	85	387	1,348	2,380	
	執行率(%)	94%	84%	43%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	(成果目標) 自動車盗や自動車を利用した犯罪を検挙するための自動車ナンバー自動読取装置の整備 (成果実績) 累積整備数		成果実績 累積整備数	1,496	1,496	1,498	1,498
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	年間整備数(更新・増強)		活動実績 (当初見込み) 年間整備数	増強:455 更新:120 (増強:455) (更新:120)	更新:5 (更新:5)	増強:2 更新:13 (増強:2) (更新:37)	- (更新:25)
単位当たりコスト	11,133(千円/箇所)		算出根拠	1箇所当たりの更新経費(設置工事費)			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	物品購入費	6	870	前年度と比較して、整備箇所数が増加したため、増額となったもの。 要求額のうち、「新しい日本のための優先課題推進枠」1,081百万円			
	雑役務費	12	1,510				
計	18	2,380					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			自動車利用犯罪の検挙(広域犯罪対策)に極めて効果的な装置であり、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			全国的に仕様を統一する必要がある通信資機材については、警察庁において競争入札等により一括調達するなど、競争性、効率性、経済性について、十分検討の上、実施している。 また、不用率が大きい理由は、各種通信資機材の調達に当たり、競争入札を実施した結果、見込み額より安価で落札したからである。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
事業の有効性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			事業を実施することにより、自動車利用犯罪の検挙の手段として、高い効果が得られるものである。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
点検結果	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	-		
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 本事業に係る機器設置工事費等については、地方機関に予算配賦して執行しているが、地方機関から執行状況の報告を受けているので、支出先・使途については把握している。					
	2 見直しの余地 自動車ナンバー自動読取装置は、自動車利用犯罪の検挙に極めて効果的であることから、引き続き実施する必要がある。 予算要求に際して、契約実績額、市場調査に基づく金額及び内容の精査を行っているほか、契約案件の都度、仕様の見直し・点検や競争性を高めるための契約方式の検討を行っている。					
外部有識者の所見						
外部有識者の点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	おおむね具体的で十分な内容と認められる。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	自動車ナンバー自動読取装置は、自動車利用犯罪の検挙に極めて効果的であることから、引き続き実施する必要がある。 引き続き、契約実績や市場調査に基づく金額や内容の精査を実施するとともに、仕様の見直し・点検や競争性の確保に努める。					
備考						
特になし。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	当初8-5、補正3-3	平成23年	52	平成24年	37



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.A(株)			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
物品購入費	自動車ナンバー自動読取装置の購入等	55			
計		55	計		0
B.北海道警察情報通信部			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
予算配賦	自動車ナンバー自動読取システムの整備に要する経費	13			
計		13	計		0
C.(株)A			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
工事費	通信機器更新等工事	13			
計		13	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	A(株)		55		
(内訳)		自動車ナンバー自動読取装置の購入	28	3	
		自動車ナンバー自動読取装置の購入	27	3	
2	B(株)		51		
(内訳)		自動車ナンバー照合装置の購入	48	2	
		自動車ナンバー照合装置用基板の購入	3	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道警察情報通信部	予算配賦	13		
2	近畿管区警察局	予算配賦	13		
3	関東管区警察局	予算配賦	12		
4	九州部管区警察局	予算配賦	10		
5	中部管区警察局	予算配賦	7		
6	東京都警察情報通信部	予算配賦	4		
7	四国管区警察局	予算配賦	1		
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)A	通信機器更新等工事	13	2	
2	B(株)	通信機器更新設計委託	0.3	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

自動車ナンバー自動読取装置の整備

自動車利用犯罪の迅速かつ的確な検挙のため、自動的に自動車のナンバーを読み取って手配車両のナンバーと照合する装置を整備

自動車ナンバー自動読取装置の概要

